

# 水 稲

## 放射性セシウム吸収抑制対策

### ① 加里質肥料を施肥

土壌加里濃度 25 mg/100g を目標として、加里質肥料を増肥する

塩化加里の増肥量 (kg/10a) = (25 - 土壌の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6

※上記式は作土 15cm、黒ボク土で仮比重 0.65 の場合。

作土 15cm、灰色低地土の場合は、仮比重 0.9 とすると上記式×1.35

(塩化加里の加里成分量 60%)

※※塩化加里に含まれる水溶性加里の効果は施用した年に限定されることから、前年産で塩化加里を増肥したほ場にでも、土壌加里濃度を確認し目標値になるようにしましょう。

加里質肥料を増肥し土壌改良した上で、県の施肥基準に応じた施用を行いましょう。

### ② 15 cm 以上の深耕

深く耕すことにより放射性セシウムが土壌に固定され、さらにセシウムが拡散するため、根によるセシウムの吸収量が少なくなります。

### ③ 倒伏させない稲づくり

倒伏すると土が収穫物に付着する危険性が高まります。多肥栽培を避け、生育に応じた適正な水管理を実施するなど、倒伏させない稲づくりをしましょう。

### ④ 土の混入防止

収穫、乾燥、調製作業において、農機具等の清掃を徹底し、粳や玄米に土が混入しないように注意しましょう。